

## 泌尿器科を受診された患者様へ

現在、当院泌尿器科では下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

なお、結果を公表した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなりますので、予めご了承ください。また、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益が生じることはありません。

### 【研究課題名】

TULにおける difficult ureter (DU) の検討

### 【研究の目的】

経尿道的碎石術（TUL）を実施する際に尿管が狭く、硬性・軟性尿管鏡、尿管アクセスシース（UAS）<sup>※1</sup>の挿入が困難で結石に到達できない（difficult ureter (DU)）患者さんの場合、2期的手術<sup>※2</sup>が必要となることがあります。2期的手術を回避するため、術前に尿管ステントを留置（pre-stenting）することにより尿管径を拡張し、DUを回避する方法をとることがありますが、ステント合併症（ステント刺激、血尿、尿路感染）や医療経済などを考慮する必要があります。

そこでどのような背景の患者さんに対し pre-stenting を行うべきか検討するため、この研究を計画しました。

<sup>※1</sup> 尿道から尿管上部まで挿入する筒状の器具で、軟性尿管鏡の腎までの到達を容易にする器具

<sup>※2</sup> 複数回に分けて手術を行うこと

### 【対象となる患者さん】

2020年7月より2022年6月に経尿道的碎石術を施行された患者さん

### 【調査期間】

宝塚市立病院 臨床研究倫理審査委員会承認日より、2022年10月31日まで

### 【使用させていただく診療データ】

年齢、性別、BMI、結石部位、結石歴、結石への到達困難の有無、尿管アクセスシースの外径など

### 【個人情報の取り扱いと倫理的事項】

研究データは、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

また、この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。  
なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

**【研究機関】**

宝塚市立病院

住所：宝塚市小浜 4-5-1

電話番号：0797-87-1161（代表）

**【研究責任者】**

宝塚市立病院 泌尿器科 福井 浩二

**【問い合わせ先または研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

宝塚市病院 泌尿器科 福井 浩二

住所：宝塚市小浜 4 丁目 5-1 電話番号：0797-87-1161（代表）